

五月の空に泳ぐ

こいのぼり

[文書のサブタイトル]

y . y a m a

2020年5月11日

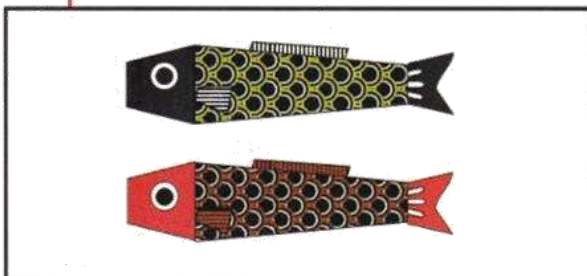
こいのぼり



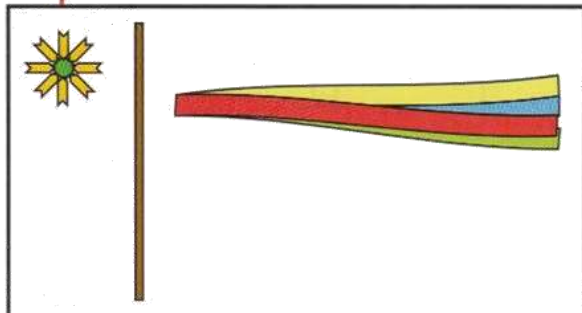
レッスン内容

2つ目の作品は、五月の青空に泳ぐ「こいのぼり」です。
こいのぼりのイラストを描く手順は次のとおりです。

Step 1 こい（真鯉と緋鯉）を描きます。



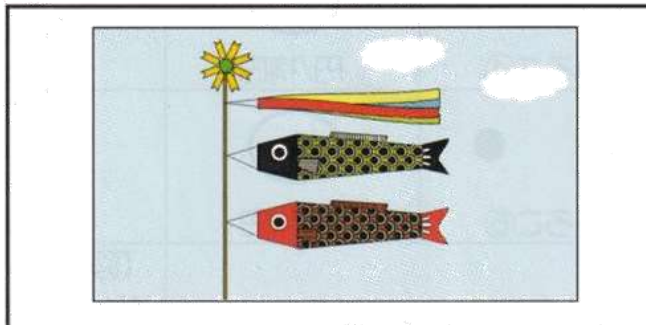
Step 2 吹き流し、矢車、支柱を描きます。



Step 3 こい（真鯉と緋鯉）、吹き流し、矢車、支柱を組み合せてみます。



Step 4 背景に青空と雲を描いて完成です。



レッスンの前に

■前提となる知識

- 図形描画の手順については使用する図形と描画結果のみを記述しています。図形描画の方法については本テキストの「【制作準備】図形描画の基礎」を参照してください。
- 描画する図形のサイズは参考値です。おおよそ同じサイズで描画してもかまいません。

■編集ウィンドウのズーム倍率の設定

- Word の編集ウィンドウの横幅がパソコンの画面と同じくらいになるように、編集ウィンドウのズーム倍率を 140%程度に設定してください。



Step 1 こい（真鯉と緋鯉）を描きます。

こい（「真鯉・まごい」と「緋鯉・ひごい」）を描く手順は次のとおりです。

Step 1-① こい（真鯉と緋鯉）のうろこを描きます。


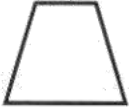




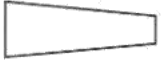

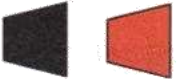




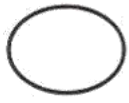
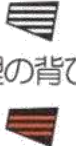
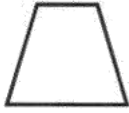


Step 1-② こい（真鯉と緋鯉）のパーツを描きます。

Step 1-③ パーツを組み合わせて真鯉と緋鯉を描きます。

こい（真鯉と緋鯉）のうろこ

操作結果	使用する図形	図形のサイズ	図形の塗りつぶし	図形の枠線
 うろこ①	 円/楕円	図形の高さ 12mm 図形の幅 12mm	塗りつぶしの色 黄	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
 うろこ②	 円/楕円	図形の高さ 12mm 図形の幅 12mm	塗りつぶしの色 赤	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
 うろこ③	 円/楕円	図形の高さ 10mm 図形の幅 10mm	塗りつぶしの色 黒	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
 うろこ④	 円/楕円	図形の高さ 8mm 図形の幅 8mm	塗りつぶしの色 白	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
 うろこ⑤	 円/楕円	図形の高さ 6mm 図形の幅 6mm	塗りつぶしの色 黒	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
  真鯉のうろこ   緋鯉のうろこ	<p>【図形のサイズについて】 Word の動作環境の違いにより図形のサイズに整数を入力しても小数部分が表示されることがあります。</p> <p>うろこの画像作成には、Windows 7 や Windows Vista に搭載されている Snipping Tool というプログラムを使用します。Snipping Tool が使用できないシステムの場合には、本テキストの完成例ファイルに含まれている「真鯉のうろこ.jpg」と「緋鯉のうろこ.jpg」を [マイピクチャ] フォルダに保存して使用して下さい。</p>			

こい（真鯉と緋鯉）のパーツ

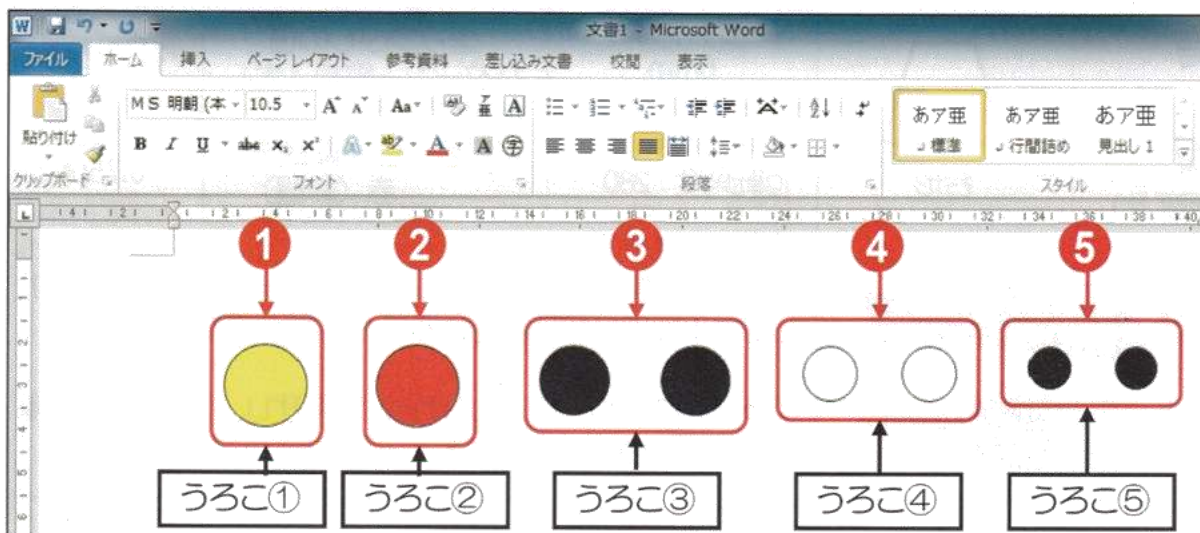
操作結果	使用する図形	図形のサイズ	図形の塗りつぶし	図形の枠線
 尾びれ	 台形	図形の高さ 8mm 図形の幅 11mm 左へ 90° 回転	塗りつぶしの色 真鯉：黒 緋鯉：赤	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
 尾びれの模様	 フローチャート：端子	図形の高さ 1mm 図形の幅 6mm 回転角度：345° 回転角度：15°	塗りつぶしの色 白	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
 真鯉の背びれ 緋鯉の背びれ	 平行四辺形	図形の高さ 4mm 図形の幅 18mm 回転角度：4°	塗りつぶしの色 パターン：縦線（太） 前景色：黒 背景色：白（真鯉） 赤（緋鯉）	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
 胴体	 台形	図形の高さ 38mm 図形の幅 14mm 右へ 90° 回転	塗りつぶしの色 図による塗りつぶし	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
 頭	 台形	図形の高さ 12mm 図形の幅 14mm 左へ 90° 回転	塗りつぶしの色 真鯉：黒 緋鯉：赤	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
 目①	 円/楕円	図形の高さ 5mm 図形の幅 5mm	塗りつぶしの色 白	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
 目②	 円/楕円	図形の高さ 3mm 図形の幅 3mm	塗りつぶしの色 黒	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
 真鯉の胸びれ 緋鯉の胸びれ	 台形	図形の高さ 6mm 図形の幅 5mm 回転角度：280°	塗りつぶしの色 パターン：縦線（太） 前景色：黒 背景色：白（真鯉） 赤（緋鯉）	枠線の色 黒 太さ 0.75pt
真鯉  緋鯉 	<p>【図形のサイズについて】 Word の動作環境の違いにより図形のサイズに整数を入力しても小数部分が表示されることがあります。</p> <p>イラストのため、こいのひれは「尾びれ」、「背びれ」、「胸びれ」の3つとしています。</p>			

Step 1— ① こい（真鯉と緋鯉）のうろこを描きます。

描画キャンバス内では「配置」機能の「左右中央揃え」や「上下中央揃え」の機能が使用できないため、「こい（真鯉と緋鯉）のうろこ」は編集ウィンドウ上に描画します。

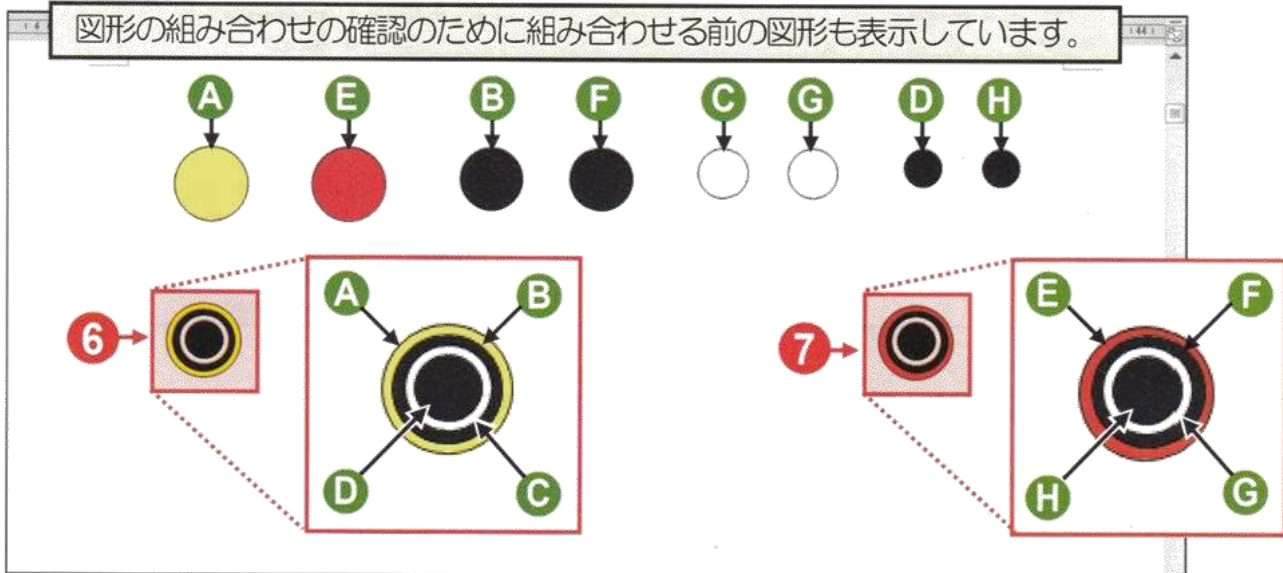
操作開始

- 1 編集ウィンドウの左上に「円/楕円」を使用して、次の設定の「うろこ①」を描きます。
[サイズ] — [図形の高さ]：12mm [図形の幅]：12mm
[図形の塗りつぶし] — [塗りつぶしの色]：黄
[図形の枠線] — [枠線の色]：黒 [枠線の太さ]：0.75pt
- 2 「うろこ①」の右に「円/楕円」を使用して、次の設定の「うろこ②」を描きます。
[サイズ] — [図形の高さ]：12mm [図形の幅]：12mm
[図形の塗りつぶし] — [塗りつぶしの色]：赤
[図形の枠線] — [枠線の色]：黒 [枠線の太さ]：0.75pt
- 3 「うろこ②」の右に「円/楕円」を使用して、次の設定の「うろこ③」を2つ描きます。
[サイズ] — [図形の高さ]：10mm [図形の幅]：10mm
[図形の塗りつぶし] — [塗りつぶしの色]：黒
[図形の枠線] — [枠線の色]：黒 [枠線の太さ]：0.75pt
- 4 「うろこ③」の右に「円/楕円」を使用して、次の設定の「うろこ④」を2つ描きます。
[サイズ] — [図形の高さ]：8mm [図形の幅]：8mm
[図形の塗りつぶし] — [塗りつぶしの色]：白
[図形の枠線] — [枠線の色]：黒 [枠線の太さ]：0.75pt
- 5 「うろこ④」の右に「円/楕円」を使用して、次の設定の「うろこ⑤」を2つ描きます。
[サイズ] — [図形の高さ]：6mm [図形の幅]：6mm
[図形の塗りつぶし] — [塗りつぶしの色]：黒
[図形の枠線] — [枠線の色]：黒 [枠線の太さ]：0.75pt



6 「A うろこ①」、「B うろこ③」、「C うろこ④」、「D うろこ⑤」を次の図のように、各図形の中心をおおまかに揃えて重ねます。

7 「E うろこ②」、「F うろこ③」、「G うろこ④」、「H うろこ⑤」を次の図のように、各図形の中心をおおまかに揃えて重ねます。

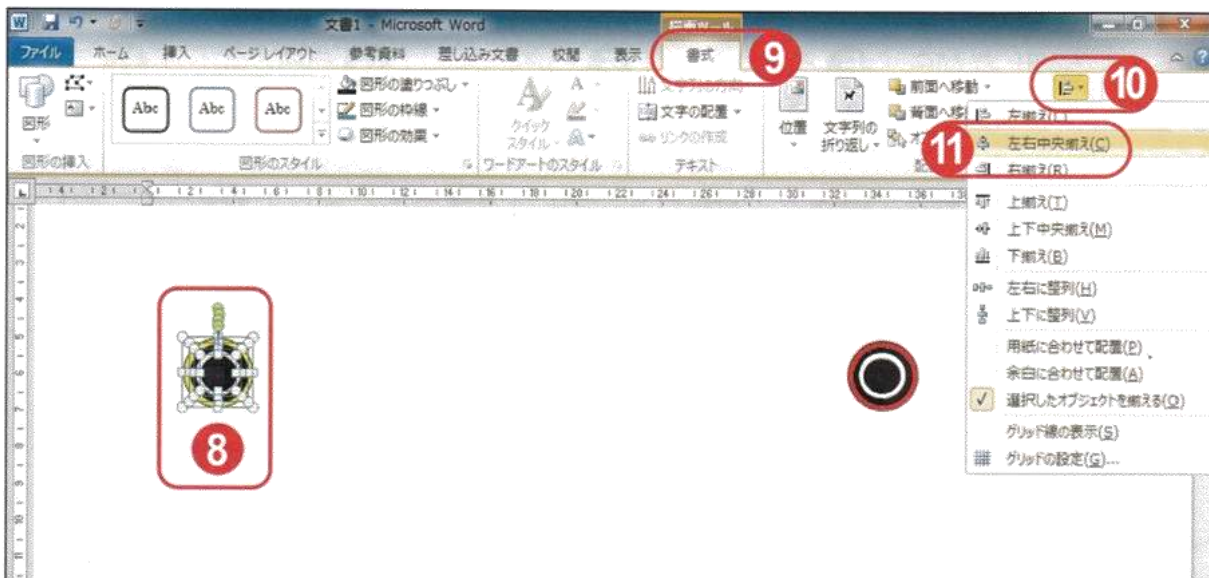


8 [Shift] キーを押しながら「A うろこ①」、「B うろこ③」、「C うろこ④」、「D うろこ⑤」を順にクリックして4つの図形をまとめて選択します。
(編集ウィンドウのズーム倍率を300%以上に設定すると選択しやすくなります。図形をまとめて選択した後は、ズーム倍率を140%に戻しておきましょう。)

9 [描画ツール] の [書式] タブをクリックします。

10 [配置] グループにある [配置] をクリックします。

11 表示されるメニューから [左右中央揃え] をクリックします。



12 [配置] グループにある [配置] をクリックします。

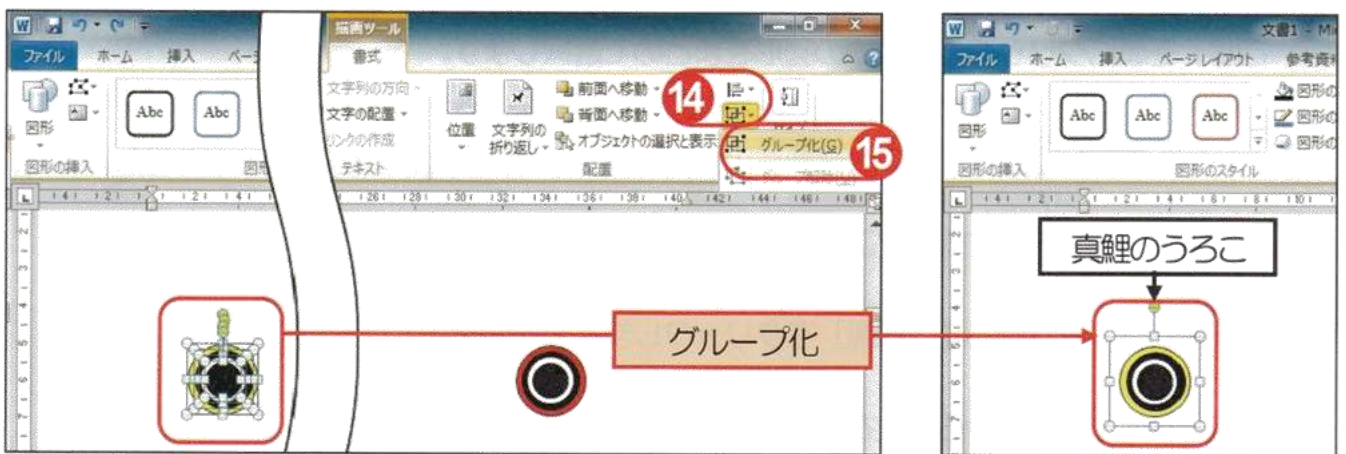
13 表示されるメニューから [上下中央揃え] をクリックします。



14 [配置] グループにある [グループ化] をクリックします。

15 表示されるメニューから [グループ化] をクリックします。

「A うろこ①」、「B うろこ③」、「C うろこ④」、「D うろこ⑤」がグループ化されます。これを「真鯉のうろこ」とします。



16 [Shift] キーを押しながら「E うろこ②」、「F うろこ③」、「G うろこ④」、「H うろこ⑤」を順にクリックして選択します。

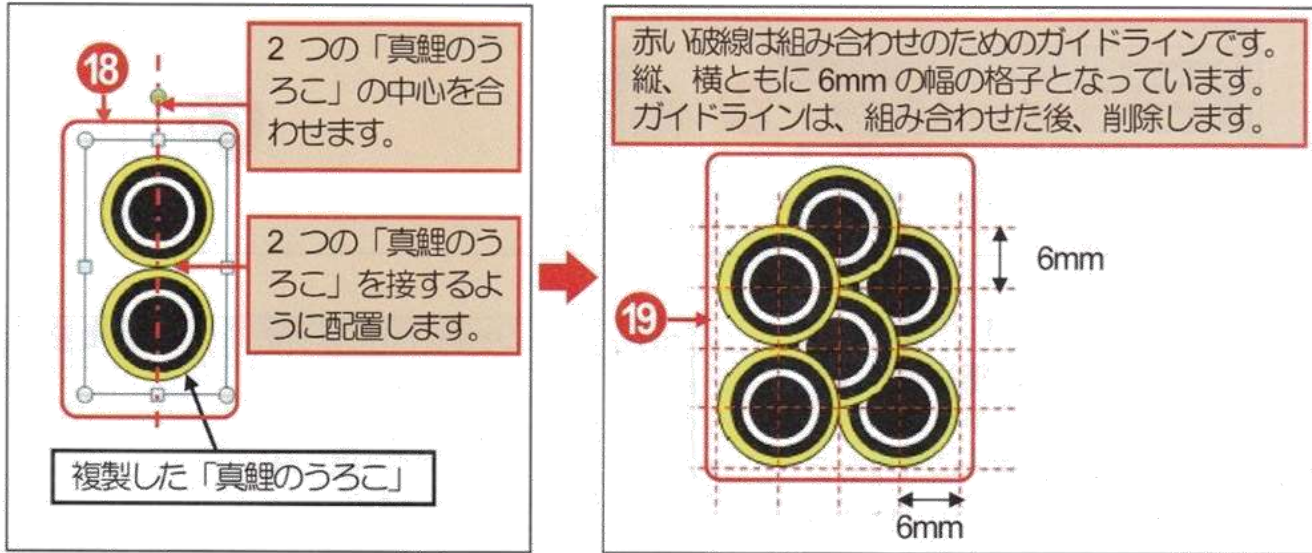
17 9 から 15 までと同様の操作で「E うろこ②」、「F うろこ③」、「G うろこ④」、「H うろこ⑤」の順に重ね、左右中央および上下中央に揃えてからグループ化します。これを「緋鯉のうろこ」とします。



「真鯉のうろこ」と「緋鯉のうろこ」から真鯉と緋鯉のうろこの画像（真鯉のうろこ.jpg・緋鯉のうろこ.jpg）を作成します。なお、ダウンロードした「真鯉のうろこ.jpg」と「緋鯉のうろこ.jpg」を使用する場合は、これ以降の操作は行わずに Step 1-②（12 ページ）へ進みます。

18 「真鯉のうろこ」を1つ複製して次の図のように組み合わせ、2つの「真鯉のうろこ」が選択されている状態で、**14** から **15** までと同様の操作でグループ化します。

19 グループ化した2つの「真鯉のうろこ」を2つ複製し、次の図のように組み合わせます。



20 [スタート] ボタンをクリックします。

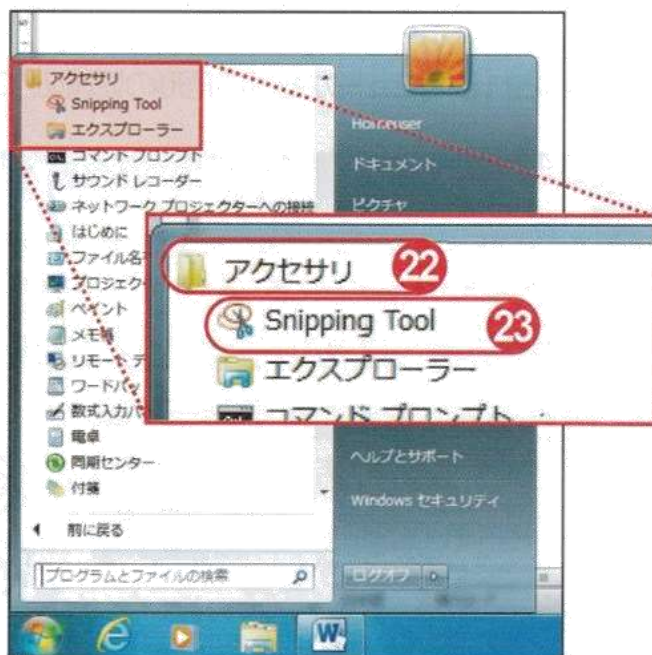
21 [すべてのプログラム] をクリックします。

22 [アクセサリ] をクリックします。

23 [Snipping Tool] をクリックします。

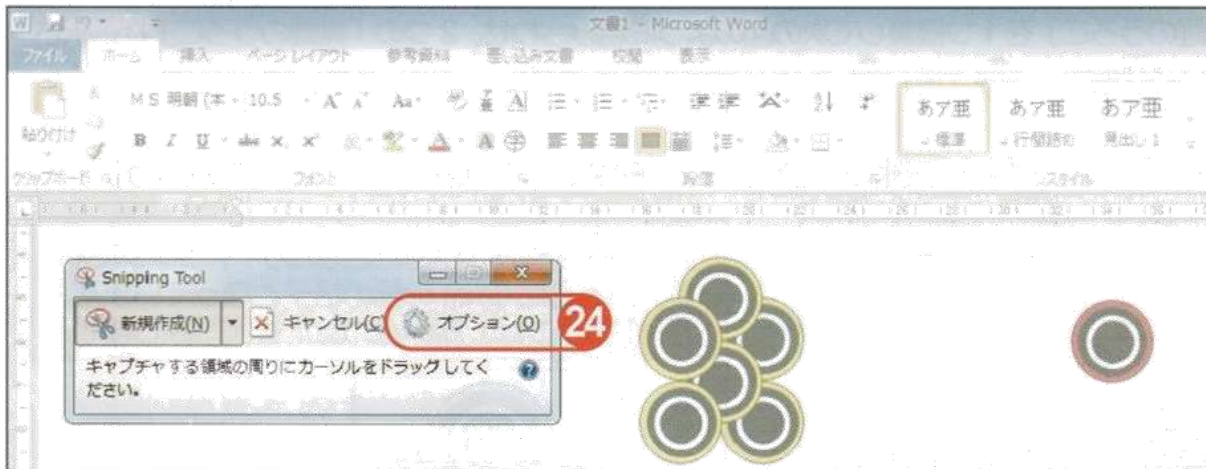
参考

Snipping Tool とは、Windows Vista や Windows 7 に搭載されているパソコンの画面の表示の一部を切り取って画像として保存できるプログラムのことです。



24 画面全体が白っぽい状態となり、[Snipping Tool] のウィンドウが表示されます。

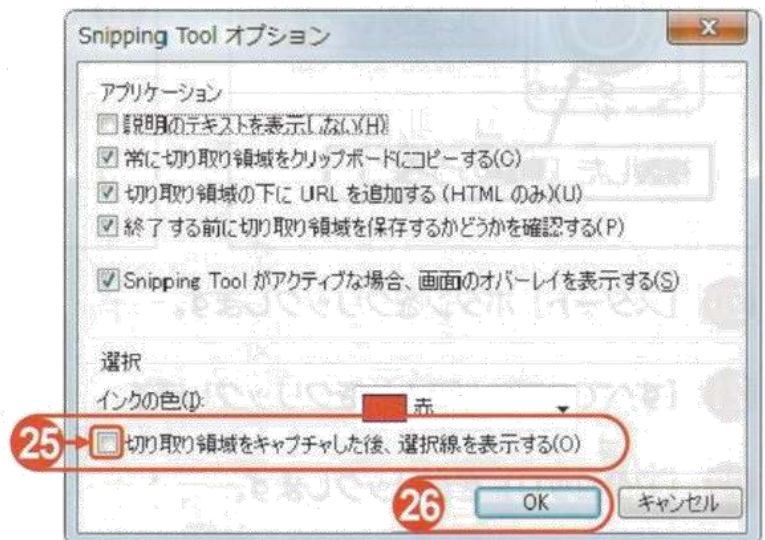
[オプション] をクリックします。



[Snipping Tool オプション] ダイアログボックスが表示されます。

25 [切り取り領域をキャプチャした後、選択線を表示する] のチェックボックスのチェックを外します。(そのほかの項目は既定のままとします。)

26 [OK] ボタンをクリックします。



27 [新規作成] の右にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。

28 表示されるメニューから [四角形の領域切り取り(R)] をクリックします。



- 29 「真鯉のうろこ」の組み合わせから次の図の部分ドラッグします。ドラッグの開始点は「真鯉のうろこ」 ① の中心で、終了点は「真鯉のうろこ」 ② の中心です。

[Snipping Tool] のウィンドウに切り取った画像が表示されます。

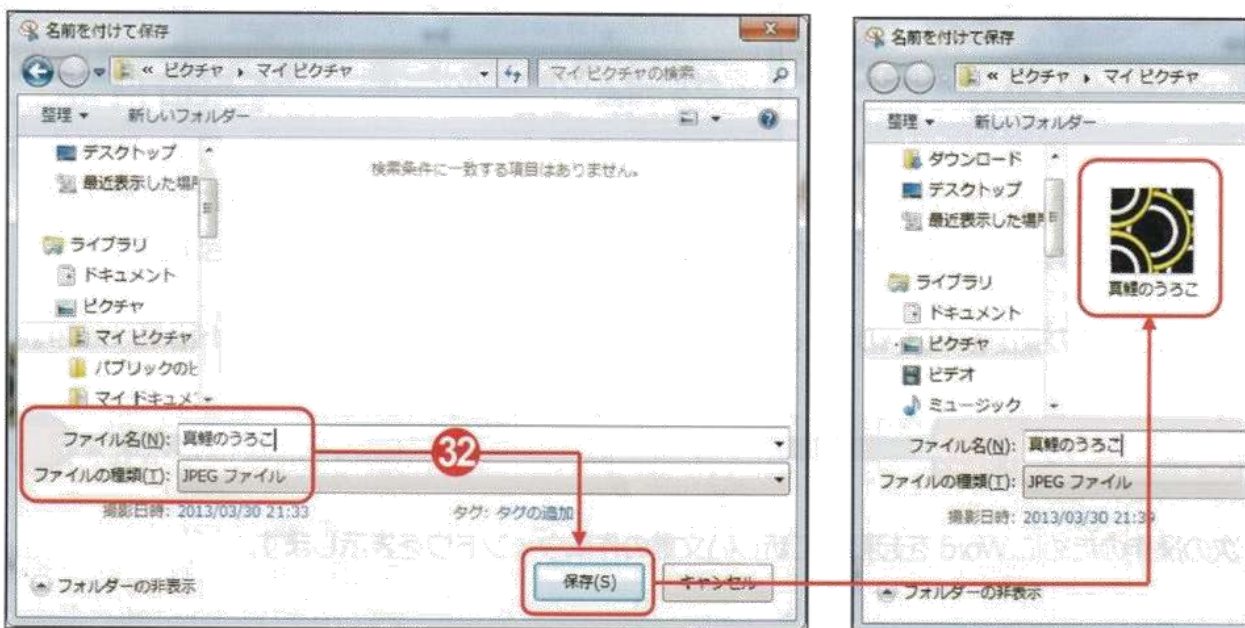
- 30 [ファイル] をクリックします。

- 31 表示されるメニューから [名前を付けて保存] をクリックします。



[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

- 32 「真鯉のうろこ.jpg」というファイル名を付けて JPEG ファイルとして [マイピクチャ] フォルダに保存します。



33 [ファイル] をクリックします。

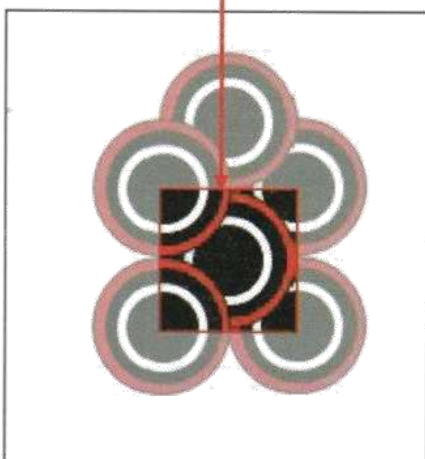
34 表示されるメニューから [終了] をクリックします。

ここまでの操作で「真鯉のうろこ」を使用して真鯉のうろこの画像（「真鯉のうろこ.jpg」）を作成することができました。



35 18 から 34 までと同様の操作で「緋鯉のうろこ」を使用して緋鯉のうろこの画像（「緋鯉のうろこ.jpg」）を作成します。

Snipping Toolによる画像の切り取り



ここまでの操作で「真鯉のうろこ」と「緋鯉のうろこ」を使用して、真鯉のうろこの画像（真鯉のうろこ.jpg）と緋鯉のうろこの画像（緋鯉のうろこ.jpg）を作成することができました。

ここまでの操作を「このうろこ.docx」という名前を付けて保存した後、Wordを終了します。

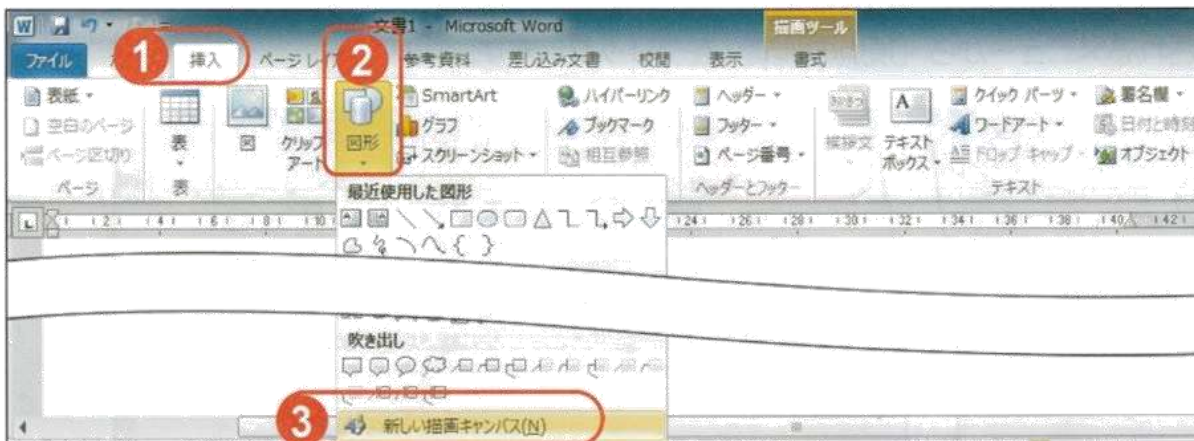
操作終了

次の操作のために Word を起動して新しい文書の作成ウィンドウを表示します。

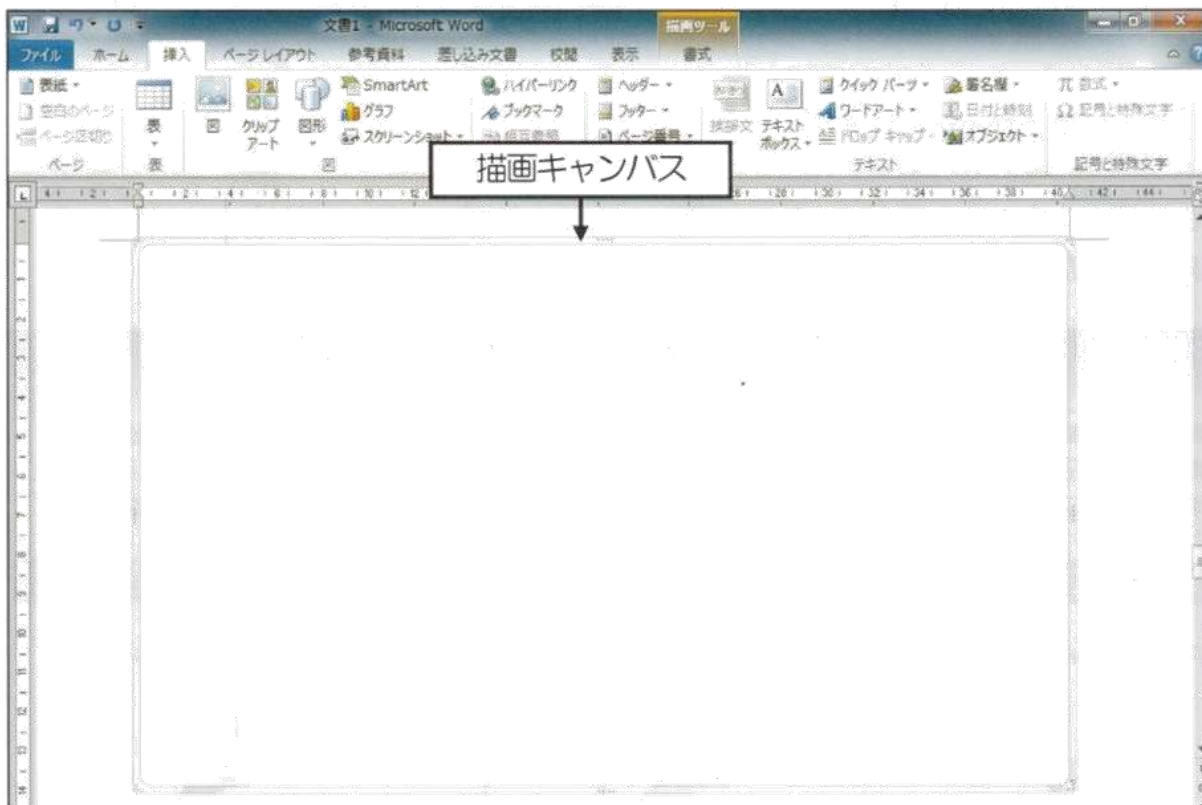
Step 1- ② こい（真鯉と緋鯉）のパーツを描きます。

操作開始

- 1 [挿入] タブをクリックします。
- 2 [図] グループにある [図形] をクリックします。
- 3 表示される図形一覧メニューから [新しい描画キャンバス] をクリックします。



編集ウィンドウに新しい描画キャンバスが表示されます。



これ以降の図形描画操作はすべて描画キャンバス内で行います。

4 描画キャンパスの右上に [台形] を使用して、次の設定の「尾びれ」を描き、左へ 90° 回転させます。

[サイズ] - [図形の高さ] : 8mm [図形の幅] : 11mm

[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 黒

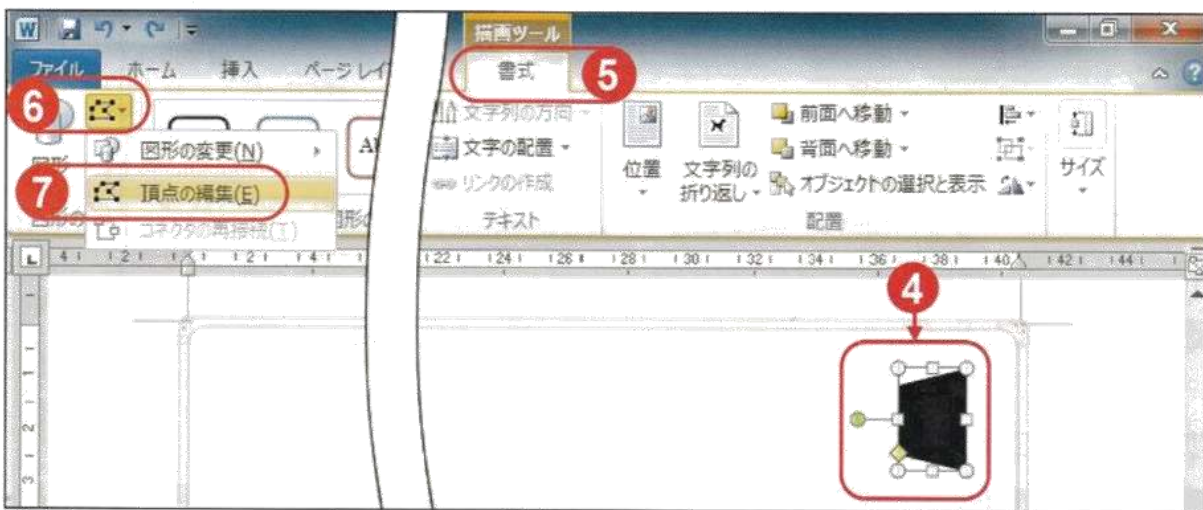
[図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt

[回転] : 左へ 90° 回転


5 「尾びれ」が選択されている状態で [描画ツール] の [書式] タブをクリックします。

6 [図形の挿入] グループにある [図形の編集] をクリックします。

7 表示されるメニューから [頂点の編集] をクリックします。



「尾びれ」に頂点が表示されます。

8 台形の底辺の中央にマウスポインターを移動して、マウスポインターの形が  になったら、左方向へ少しだけドラッグします。



- 9 「尾びれ」の左に [フローチャート：端子] を使用して、次の設定の「尾びれの模様」を描きます。

[サイズ] - [図形の高さ]：1mm [図形の幅]：6mm

[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色]：白

[図形の枠線] - [枠線の色]：黒 [枠線の太さ]：0.75pt

- 10 「尾びれの模様」を2つ複製したのち、1つを回転角度「345°」、もう1つを回転角度「15°」に設定します。



- 11 「尾びれの模様」の左に [平行四辺形] を使用して、次の設定の「背びれ」を描きます。

[サイズ] - [図形の高さ]：4mm [図形の幅]：18mm

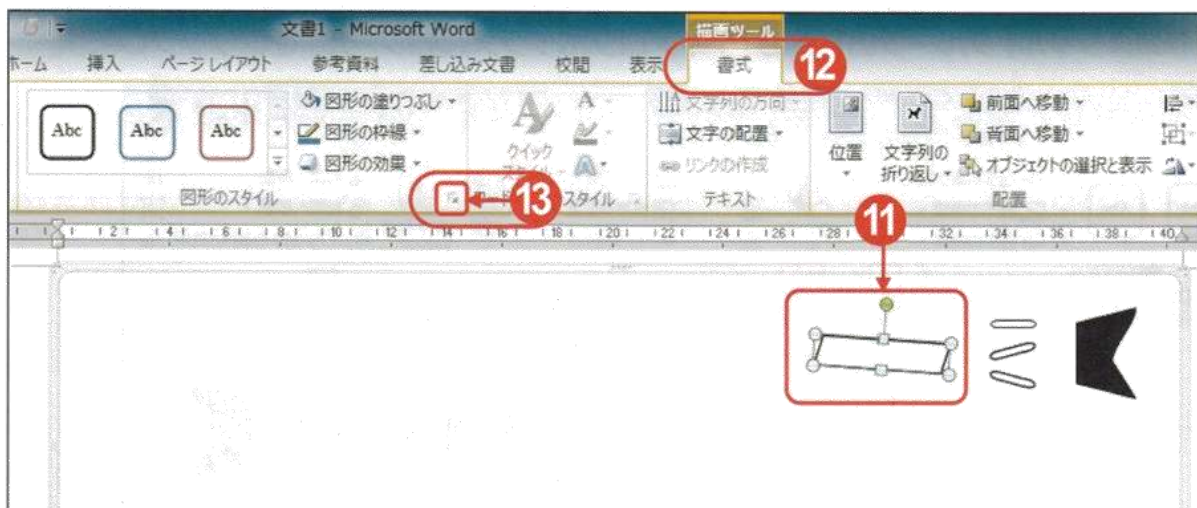
[図形の塗りつぶし] - 次の操作でパターンを設定するため「白」または既定の色のみでかまいません。

[図形の枠線] - [枠線の色]：黒 [枠線の太さ]：0.75pt

[回転]：回転角度 4°

- 12 「尾びれ」が選択されている状態で [描画ツール] の [書式] タブをクリックします。

- 13 [図形のスタイル] グループの右端の [ダイアログボックス起動ツール] をクリックします。



[図形の書式設定] ダイアログボックスが表示されます。

14 [図形の書式設定] ダイアログボックスの左端のメニューから [塗りつぶし] をクリックします。

15 [塗りつぶし] セクションの [塗りつぶし (パターン)] をクリックします。

16 パターンの一覧メニューから [縦線 (太)] をクリックします。

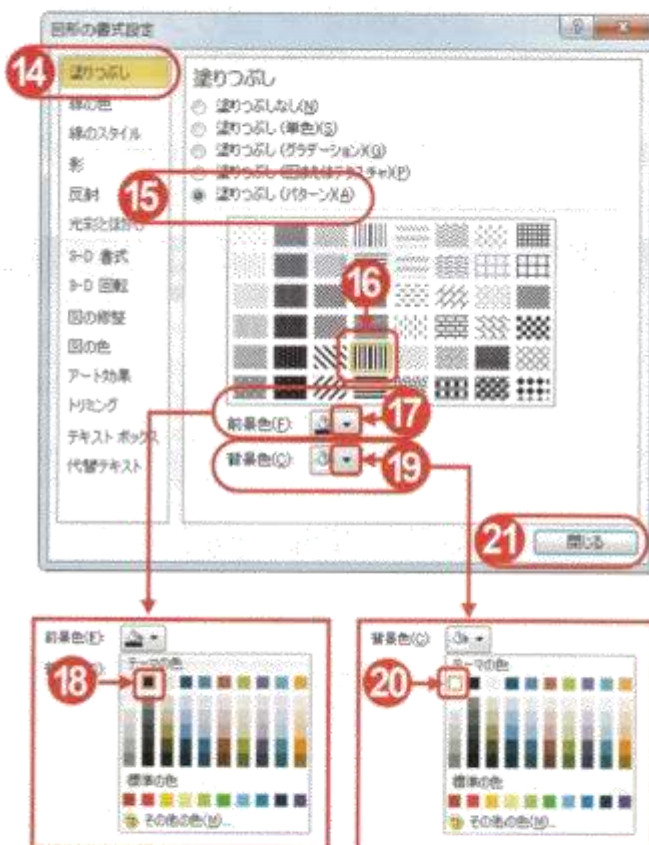
17 [前景色] の右にある [下向き三角(▼)] ボタンをクリックします。

18 表示されるカラーパレットから [黒] をクリックします。

19 [背景色] の右にある [下向き三角(▼)] ボタンをクリックします。

20 表示されるカラーパレットから [白] をクリックします。

21 [閉じる] ボタンをクリックします。



22 「背びれ」の左に [台形] を使用して、次の設定の「胴体」を描き、右へ 90° 回転させます。
[サイズ] - [図形の高さ] : 38mm [図形の幅] : 14mm
[図形の塗りつぶし] - 次の操作で図による塗りつぶしを設定するため「白」または既定の色のみでかまいません。

[図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt

[回転] : 右へ 90° 回転

23 「胴体」が選択されている状態で [描画ツール] の [書式] タブをクリックします。

24 [図形のスタイル] グループの右端の [ダイアログボックス起動ツール] をクリックします。



[図形の書式設定] ダイアログボックスが表示されます。

25 [図形の書式設定] ダイアログボックスの左端のメニューから [塗りつぶし] をクリックします。

26 [塗りつぶし] セクションの [塗りつぶし (図またはテキストチャ)] をクリックします。

27 [図の挿入] セクションの [ファイル] ボタンをクリックします。

[図の挿入] ダイアログボックスが表示されます。

28 [真鯉のうろこ] をクリックします。

29 [挿入] ボタンをクリックします。

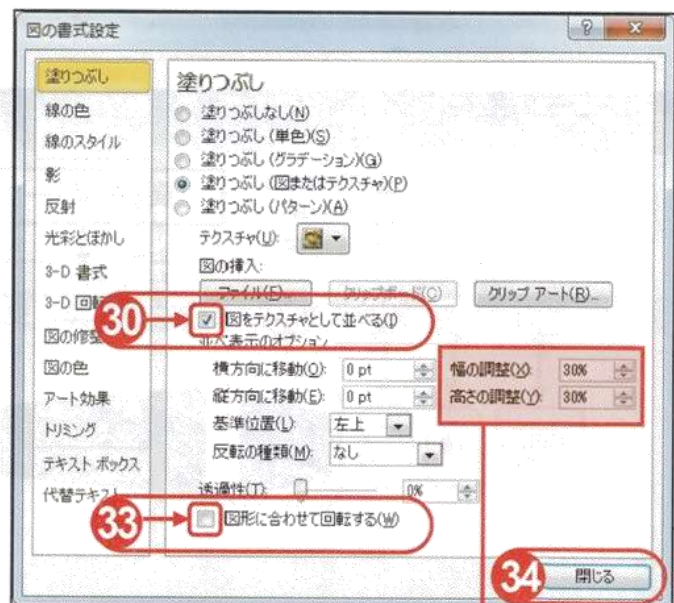
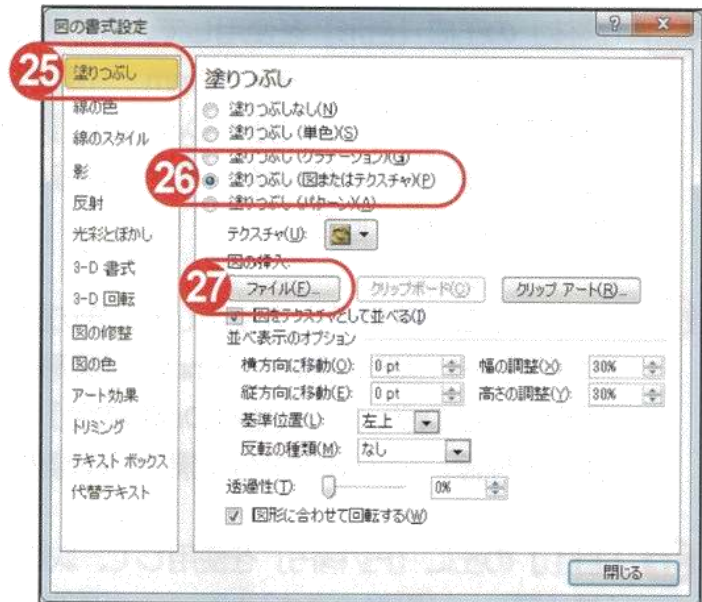
30 [図をテキストチャとして並べる] をクリックします。

31 [並べ表示のオプション] セクションの [幅の調整] を「30%」にします。

32 [並べ表示のオプション] セクションの [高さの調整] を「30%」にします。

33 [図形に合わせて回転する] のチェックボックスのチェックを外します。

34 [閉じる] ボタンをクリックします。



35 「胴体」の左に [台形] を使用して、次の設定の「頭」を描き、左へ90°回転させます。
 [サイズ] - [図形の高さ] : 12mm [図形の幅] : 14mm
 [図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 黒
 [図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt
 [回転] : 左へ90°回転

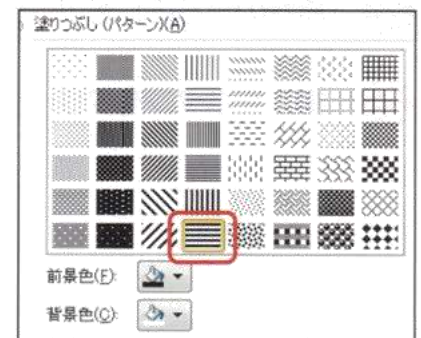
36 「頭」の左に [円/楕円] を使用して、次の設定の「目①」を描きます。
 [サイズ] - [図形の高さ] : 5mm [図形の幅] : 5mm
 [図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 白
 [図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt

37 「目①」の左に [円/楕円] を使用して、次の設定の「目②」を描きます。
 [サイズ] - [図形の高さ] : 3mm [図形の幅] : 3mm
 [図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 黒
 [図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt

38 「目②」の左に [台形] を使用して、次の設定の「胸びれ」を描きます。
 [サイズ] - [図形の高さ] : 6mm [図形の幅] : 5mm
 [図形の塗りつぶし] - パターン : [横線 (太)]

16 から 21 までと同様の操作で [前景色] : 黒
 [背景色] : 白による [横線 (太)] のパターンを
 設定します。

[図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt
 [回転] : 回転角度 280°



ここまでの操作で「真鯉のパーツ」を描くことができました。


操作終了


Step 1-③ パーツを組み合わせて真鯉と緋鯉を描きます。

操作開始

- 1 「真鯉のパーツ」を囲むようにドラッグします。



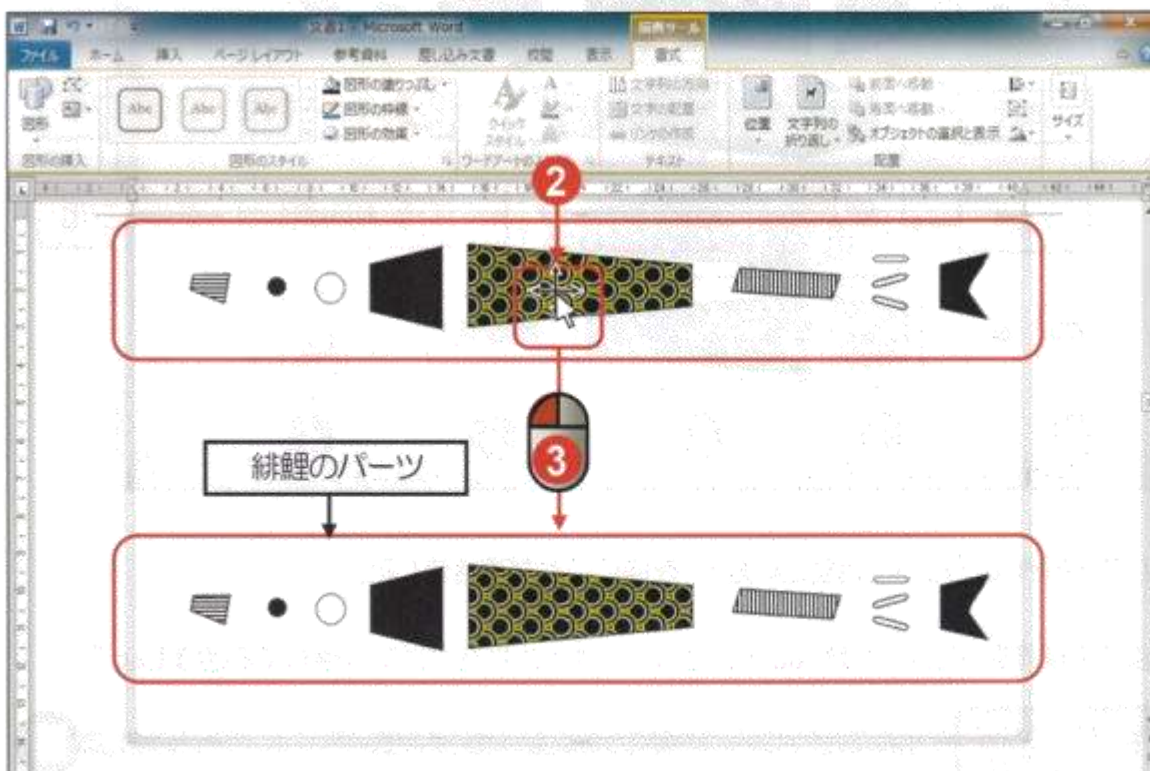
- 2 「真鯉のパーツ」がすべて選択されている状態で、マウスポインターを「真鯉のパーツ」の「胴体」の中央部に移動させると、マウスポインターの形状が  になります。

- 3 マウスポインターの形状が  のまま [Ctrl] キーを押しながら描画キャンバスの下部までドラッグします。

操作のポイント

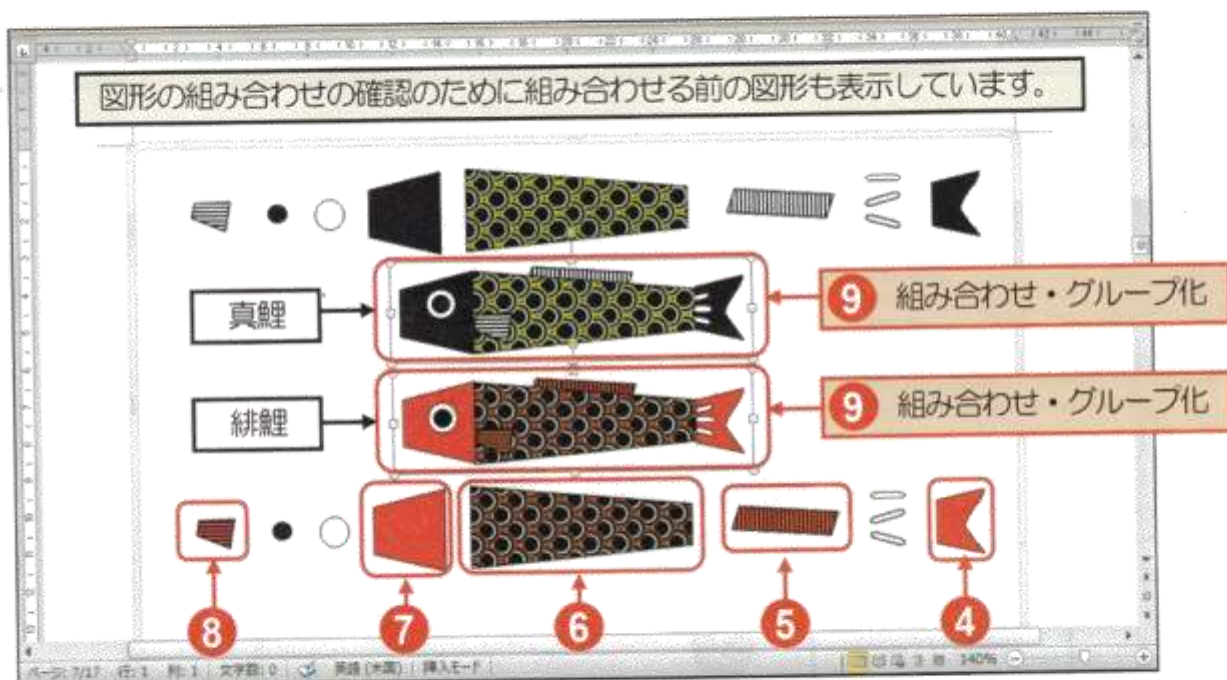
ドラッグする前に「真鯉のパーツ」の選択が解除されたときは、もう一度 ① の操作を実行して「真鯉のパーツ」をすべて選択して下さい。

この操作で「真鯉のパーツ」が複製されます。これを「緋鯉のパーツ」とします。



続いての操作では、「緋鯉のパーツ」の「尾びれ」、「背びれ」、「胴体」、「頭」、「胸びれ」の塗りつぶしの色の変更と図形のグループ化を行いますが、ここでは操作結果のみを記述します。塗りつぶしの色については Step 1 - ②の 12 から 21 まで、および 23 から 34 までを、グループ化については Step 1 - ①の 14 から 15 までの操作を参照して下さい。

- 4 「緋鯉のパーツ」の「尾びれ」塗りつぶしの色を「赤」に変更します。
- 5 「緋鯉のパーツ」の「背びれ」の塗りつぶしの色を [前景色] : 黒 [背景色] : 赤による [縦線 (太)] のパターンに変更します。
- 6 「緋鯉のパーツ」の「胴体」の塗りつぶしの色を [図による塗りつぶし] : 「緋鯉のうろこ.jpg」に変更します。
- 7 「緋鯉のパーツ」の「頭」塗りつぶしの色を「赤」に変更します。
- 8 「緋鯉のパーツ」の「胸びれ」の塗りつぶしの色を [前景色] : 黒 [背景色] : 赤による [横線 (太)] のパターンに変更します。
- 9 「真鯉のパーツ」および「緋鯉のパーツ」を次の図のように組み合わせたのち、それぞれをグループ化します。









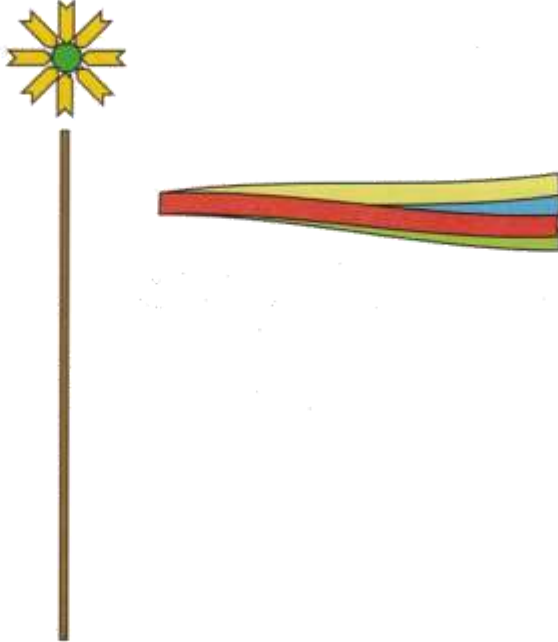


ここまでの操作で「こい (真鯉と緋鯉)」を描くことができました。

ここまでの操作を「こいのぼり.docx」というファイル名を付けて保存しておきましょう。

操作終了

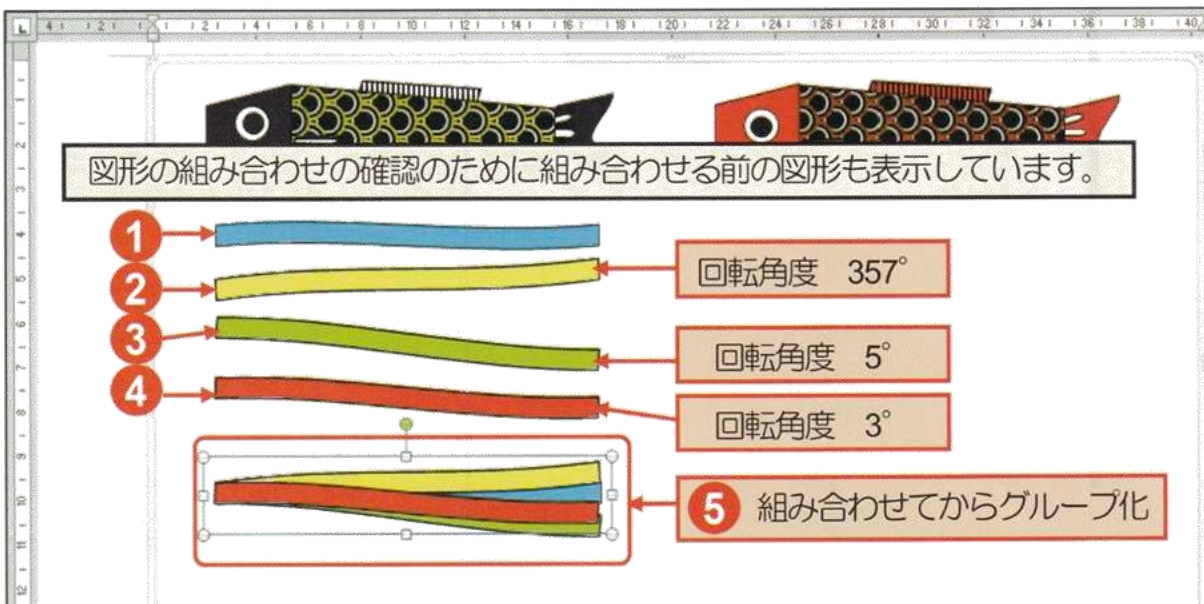
Step 2 吹き流し、矢車、支柱を描きます。

操作結果	使用する図形	図形のサイズ	図形の塗りつぶし	図形の枠線
 <p>吹き流し ① 吹き流し ② 吹き流し ③ 吹き流し ④</p>	 <p>大波</p>	<p>図形の高さ 4mm 図形の幅 55mm 回転角度 吹き流し ② 357° 吹き流し ③ 5° 吹き流し ④ 3°</p>	<p>塗りつぶしの色 吹き流し ①：青 吹き流し ②：黄 吹き流し ③：緑 吹き流し ④：赤</p>	<p>枠線の色 黒 太さ 0.75pt</p>
 <p>支柱</p>	 <p>正方形/長方形</p>	<p>図形の高さ 70mm 図形の幅 1mm</p>	<p>塗りつぶしの色 R：152 G：72 B：7</p>	<p>枠線の色 黒 太さ 0.75pt</p>
 <p>矢車の中央部</p>	 <p>太陽</p>	<p>図形の高さ 8mm 図形の幅 8mm</p>	<p>塗りつぶしの色 緑</p>	<p>枠線の色 黒 太さ 0.75pt</p>
 <p>矢羽根</p>	 <p>山形</p>	<p>図形の高さ 2mm 図形の幅 6mm</p>	<p>塗りつぶしの色 オレンジ</p>	<p>枠線の色 黒 太さ 0.75pt</p>
			<p>【図形のサイズについて】 Wordの動作環境の違いにより図形のサイズに整数を入力しても小数部分が表示されることがあります。</p>	

操作開始



- 1 「真鯉」の下部に [大波] を使用して、次の設定の「吹き流し ①」を描きます。
[サイズ] - [図形の高さ] : 4mm [図形の幅] : 55mm
[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 青
[図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt
- 2 「吹き流し ①」の下部に [大波] を使用して、次の設定の「吹き流し ②」を描きます。
[サイズ] - [図形の高さ] : 4mm [図形の幅] : 55mm
[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 黄
[図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt
[[回転] : 回転角度 357°
- 3 「吹き流し ②」の下部に [大波] を使用して、次の設定の「吹き流し ③」を描きます。
[サイズ] - [図形の高さ] : 4mm [図形の幅] : 55mm
[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 緑
[図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt
[[回転] : 回転角度 5°
- 4 「吹き流し ③」の下部に [大波] を使用して、次の設定の「吹き流し ④」を描きます。
[サイズ] - [図形の高さ] : 4mm [図形の幅] : 55mm
[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 赤
[図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt
[[回転] : 回転角度 3°
- 5 次の図のように組み合わせるから、組み合わせた図形を囲むようにドラッグして選択した後、Step 1 - ①の 14 から 15 までと同様の操作でグループ化します。これを「吹き流し」とします。



- 6 描画キャンバスの左端に [正方形/長方形] を使用して、次の設定の「支柱」を描きます。

[サイズ] - [図形の高さ] : 70mm [図形の幅] : 1mm

[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色]

R : 152 G : 72 B : 7

[図形の枠線] - [枠線の色] : 黒

- [枠線の太さ] : 0.75pt



- 7 「緋鯉」の下部に [太陽] を使用して、次の設定の「矢車の中央部」を描きます。

[サイズ] - [図形の高さ] : 8mm [図形の幅] : 8mm

[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : 緑

[図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt

- 8 「矢車の中央部」の下部に [山形] を使用して、次の設定の「矢羽根」を描きます。

[サイズ] - [図形の高さ] : 2mm [図形の幅] : 6mm

[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : オレンジ

[図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt

- 9 「矢羽根」を7つ複製し次の図のように回転させます。

- 10 「矢羽根」と「太陽」を次の図のように組み合わせてから、組み合わせた図形を囲むようにドラッグして選択した後、Step 1 - ①の 14 から 15 までと同様の操作でグループ化します。これを「矢車」とします。

図形の組み合わせの確認のために組み合わせる前の図形も表示しています。

図番	回転
1	45°
2	90°
3	135°
4	180°
5	225°
6	270°
7	315°

ここまでの操作で、「吹き流し」、「矢車」、「支柱」を描くことができました。

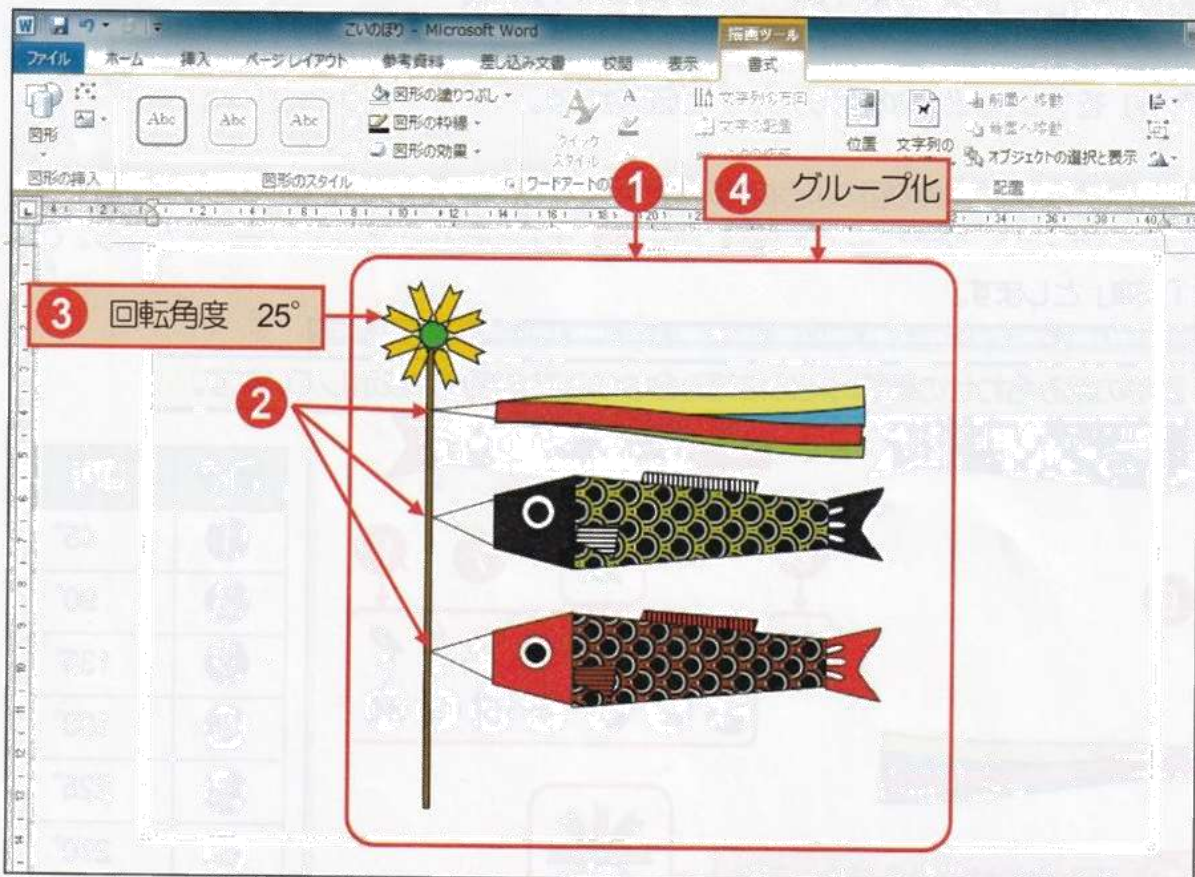
操作終了

Step 3 こい、吹き流し、矢車、支柱を組み合わせます。

操作開始



- 1 Step 1 と Step 2 で描いた「こい（真鯉と緋鯉）」、「吹き流し」、「矢車」、「支柱」を、次の図のように組み合わせます。
- 2 [直線] を使用して、「支柱」に「こい（真鯉と緋鯉）」と「吹き流し」をつなぎます。「支柱」に「こい（真鯉と緋鯉）」と「吹き流し」をつなぐ [直線] の設定は次のとおりです。
[図形の枠線] - [枠線の色] : 黒 [枠線の太さ] : 0.75pt
- 3 「矢車」は「支柱」の先端に配置した後、回転角度を「25°」に設定します。
- 4 「こい（真鯉と緋鯉）」、「吹き流し」、「矢車」、「支柱」の組み合わせが完了したら、組み合わせた図形を囲むようにドラッグして選択した後、Step 1 - ①の 14 から 15 までと同様の操作でグループ化します。








ここまでの操作で風に泳ぐ「こいのぼり」を描くことができました。

ここまでの操作を「こいのぼり.docx」に上書き保存しておきましょう。

操作終了

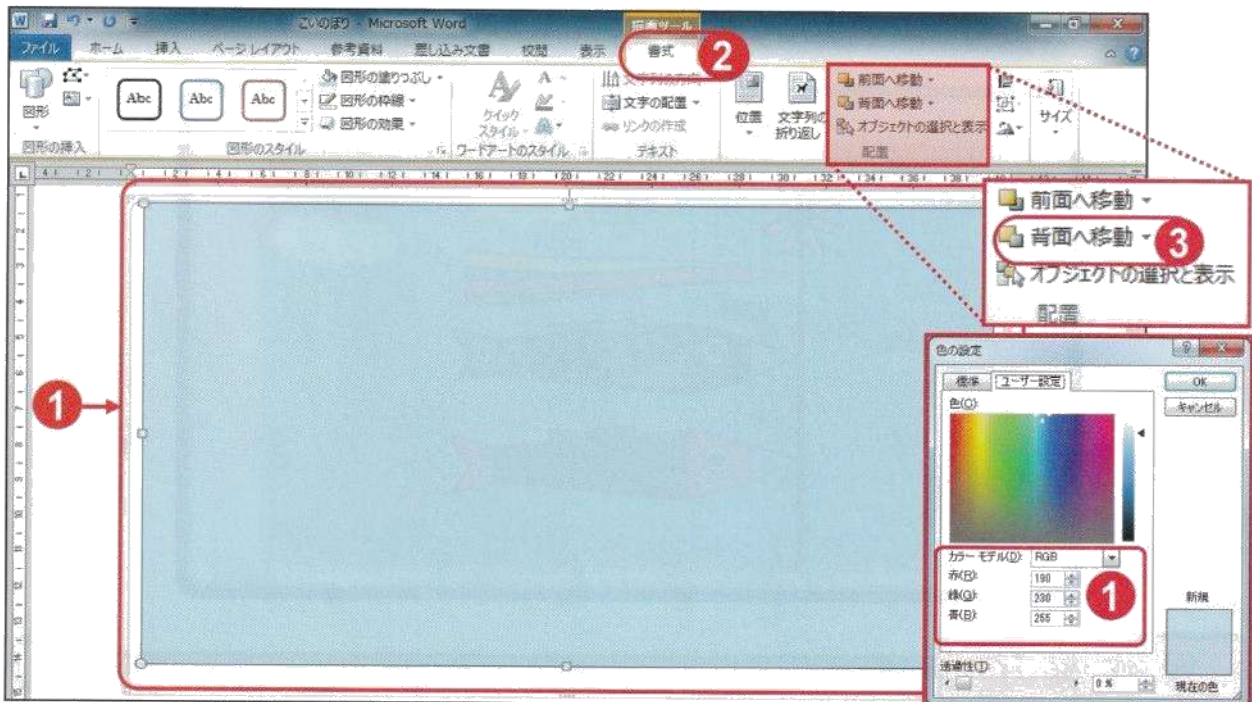


Step 4 背景に青空と雲を描いて完成です。

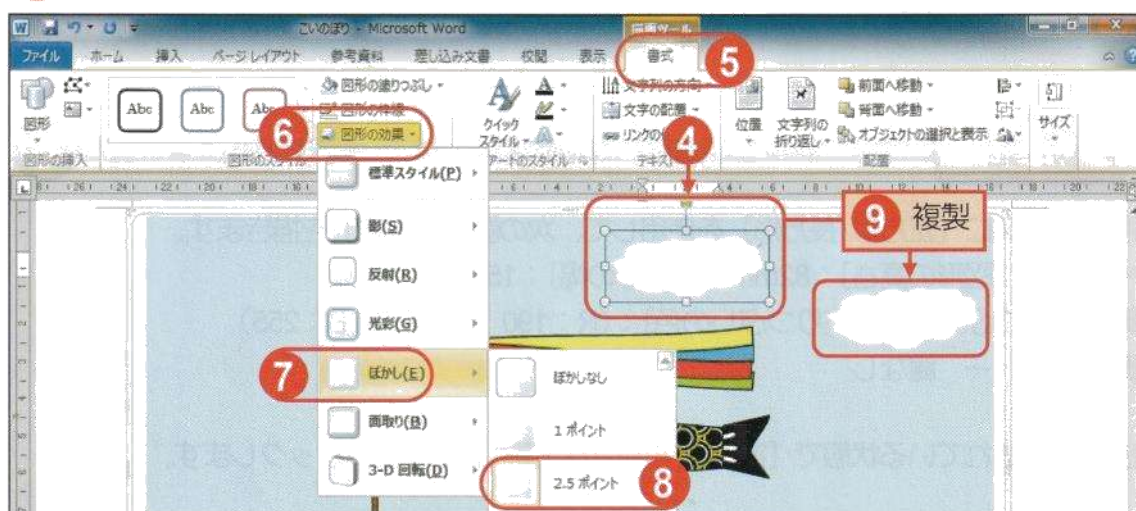
操作結果	使用する図形	図形のサイズ	図形の塗りつぶし	図形の枠線
 空	 正方形/長方形	図形の高さ 82mm 図形の幅 150mm	塗りつぶしの色 R : 190 G : 230 B : 255	線なし
 雲	 雲	図形の高さ 12mm 図形の幅 28mm	塗りつぶしの色 白 図形の効果 ぼかし:2ポイント	線なし
		【図形のサイズについて】 Word の動作環境の違いにより図形のサイズに整数を入力しても小数部分が表示されることがあります。		

操作開始

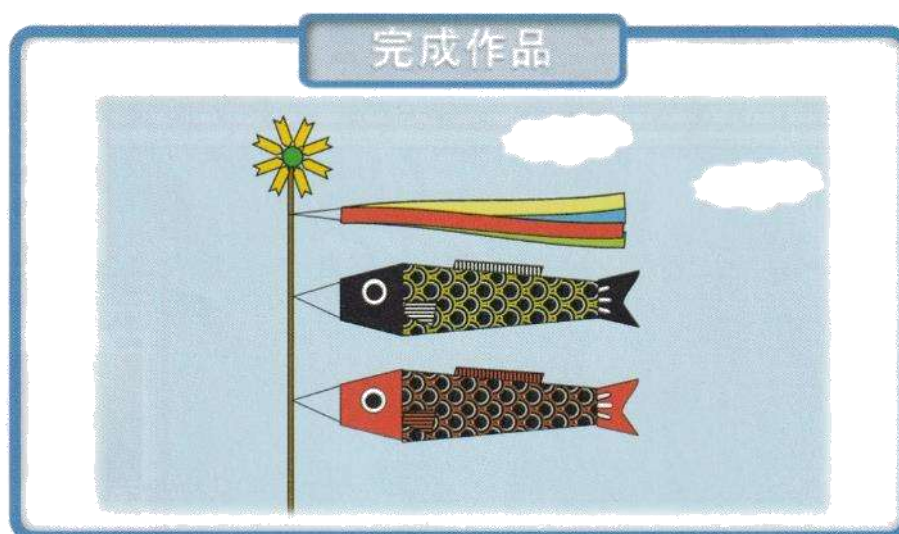
- 1 描画キャンバスに [正方形/長方形] を使用して、次の設定の「空」を描きます。
[サイズ] - [図形の高さ] : 82mm [図形の幅] : 150mm
[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : (R : 190 G : 230 B : 255)
[図形の枠線] - 線なし
- 2 「空」が選択されている状態で [描画ツール] の [書式] タブをクリックします。
- 3 [配置] グループにある [背面へ移動] をクリックします。



- 4 描画キャンパスの右上に「雲」を使用して、次の設定の「雲」を描きます。
 [サイズ] - [図形の高さ]：12mm [図形の幅]：28mm
 [図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色]：白
 [図形の枠線] - 線なし
- 5 「雲」が選択されている状態で [描画ツール] の [書式] タブをクリックします。
- 6 [図形のスタイル] グループにある [図形の効果] をクリックします。
- 7 表示されるメニューから [ぼかし] をポイントします。
- 8 表示されるメニューから [2.5ポイント] をクリックします。
- 9 4 から 8 までで描いた「雲」を1つ複製します。



ここまでの操作で「こいのぼり」のイラストが完成します。



操作終了

